

竹原市収受
竹第号
27.8.28
処理期限
月 日
分類記号
保存年限


資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	次長	係長	局員
						

平成27年8月28日

陳情





議員(視察・調査(研修)結果報告書

議員氏名 道法 知江 

視察・調査場	天武郡市長 植渡 登祐氏 地方議員研究会 特別講演 東京
期 日	平成27年7月31日 ~ 平成27年8月3日
経 費	80,880 円
参加者氏名	道法 知江
視察・調査目的	・ 先進地に学ぶ、図書館のあり方、複合施設。 ・ 自治体経営とIF。
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100人が集まる図書館では自治体の生き残り戦略が大切。少子書店等入。 ・ 官の良いと云うと民の良いと云うと違ふ。民の知恵が大切。 ・ 情報発信が重要。スピードは市人の不可逆性として見直し(教育)が求められる。教育を重視する。 ・ トップセールス 首長が、とらえ行動して行く。良いと聞くと、行って話を直接聞く。
効果・成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体経営の改革と情報発信が重要。 ・ 見直し化。人は見直しを必要と判断して行く。 ・ 職員全員に702707。職員自身が市に発信。障の情報が来ている。 ・ 成功例を学ぶ。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。


竹原市収受
竹第号
28.1.29
処理期限 月 日
分類番号 保存年限

議長	副議長	局長	副局長	次長	係長	局員
						

資料様式第3号

平成28年1月29日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 道法 知江 

視察・調査場	岡山県倉敷市民会館
期日	平成27年10月9日 ~ 平成27年10月10日
経費	7,500 円
参加者氏名	道法 知江
視察・調査目的	日本女性会議2015倉敷 参加のため
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>思いやり男女(uit)が集う白壁のまち ~ ライフステージとそれぞれの男女共同参画 ~ ・女性が輝く社会を目指して 内閣府男女共同参画局長 武川 恵子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の現状 2. 女性女性の活躍が重要な 3. 政府の取り組みと成果 4. 地域別における女性の活躍状況
効果・成果等	<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理系女性教員増加 ・ 女性と他職種への登用 ・ 11-9-2770育成 ・ 7-7ライフバランス ・ 育児・介護制度の支援

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受	
竹	第 号
27.12.28	
受理期間	月 日
分類記号	保存年数

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 道法 知江 印 


視察・調査場	全国市町村国際文化研修所
期 日	平成27年11月12日 ~ 平成27年11月13日
経 費	28,000 円
参加者氏名	道法 知江
視察・調査的目	平成27年度トップマネジメントセミナー(人口減少社会に対応し行政運営
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会における行政運営 株式会社野村総合研究所顧問 増田 寛也氏 (増田レポート作成者) 日本一の子育て村を目指して邑南町の挑戦 島根県邑南町長 石橋 良治氏 人口減少社会に立ち向かう地域経営を考える 法政大学名誉教授 岡崎 昌之氏
効果・成果等	<p>まち、ひと、しごと創生基本方針2015の全体像を学ぶ。</p> <p>日本一の子育て村構想を学ぶ。</p> <p>持続可能なまちを目指し、行政の改革に着手職員に対する地域カルテづくりをし、町民、職員がまちづくりに参画し誇りを持っている。</p> <p>住民主体のまちづくり基本条例の制定。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

議 長	副議長	局 長	局長補佐	次 長	係 長	局 員
						

竹原市 収受	
竹	第 号
27.12.28	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 道法 知江 

視察・調査場	中国会研修会 公会計預会主催研修会 公会計研修会 福山商工会議所
期 日	平成27年11月24日 ~ 平成 年 月 日
経 費	3,940 円
参加者氏名	道法 知江
視察・調査目的	下2 公会計財務書類の適切な活用に向けた地方議会の役割
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	日本公認会計士協会、公会計担当研究員 公認会計士 川口 和也氏 に対し研修。 ・地方公会計を予算編成等に積極的に活用。 ・固定資産台帳整備を早期に作成する。 ・公有財産 若取得した財産とどうに打ち分けるか。 資産評価、数量に単位をかける。金額情報の把握が前提。
効果・成果等	・財務書類作成上の課題、活用方法の理解。 ・財務書類を作成する上には固定資産台帳整備が必要。 整備期間を予め決めたうえで、全方体制での整備が必須。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

議 長	副議長	局 長	局長補佐	次 長	係 長	局 員
						 

竹原市収受
竹第号
28.1.29
処理期間 月 日
分類記号 保存年限

議長	副議長	局長	局長補佐	次長	係長	局員

資料様式第3号

平成28年1月29日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 道法知江

視察・調査場	広島市北区米島 北区家庭支援課 (広島市議会棟)
期日	平成27年12月18日 ~ 平成27年12月18日
経費	2,790 円
参加者氏名	道法知江
視察・調査目的	広島市における「妊娠・出産包括支援事業」について
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	産前・産後切小目のための支援に向けて、包括支援事業・母子保健相談支援事業の内容が具体的。 産前・産後サポート事業では、委託先の医師会と連携している。本市よりも予算に課題と実感。 <small>(助産師)</small>
効果・成果等	専門職としての保健士、助産師、看護士。抗産に努力をしなければいけない。 特に保健士の人材起用は必須である。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。